

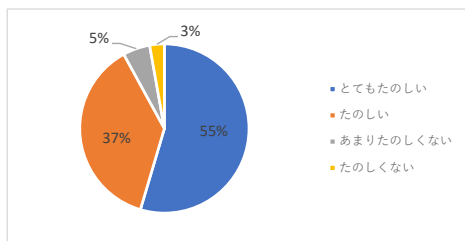
令和7年度後期 児童アンケート（学校生活アンケート）の結果

白井市立南山小学校

○アンケート実施月 令和8年3月

1 学校は楽しいですか。

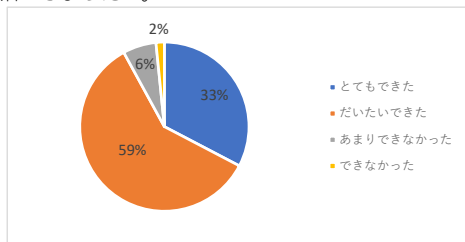
	%
とても楽しい	55%
楽しい	37%
あまりたのしくない	5%
たのしくない	3%



学校が楽しいという児童が全体の92%おります。昨年度よりも5ポイント増です。どの学級の雰囲気も落ち着いており、児童が全体的に学習や行事に意欲的に取り組んでいるからこそ考えております。しかし、否定的回答した児童の割合が8%いることを大きく受け止め、教職員間の情報共有と関係機関との連携を強化し、どの児童も安心して学べるように教育活動を推進してまいります。

2 学年・学級目標を頭に入れて生活できましたか。

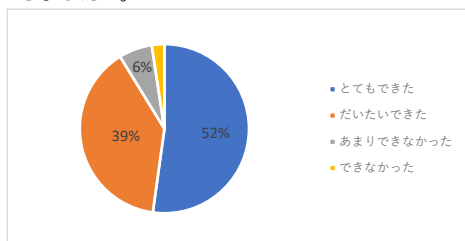
	%
とてもできた	33%
だいたいできた	59%
あまりできなかった	6%
できなかった	2%



各目標を意識して生活している児童が92%を超えています。児童が目標を意識し、具体的にどうしたらより良い学校生活を送ることができるのか、を自ら考えられるように支援を行っております。何より前期から継続して、保護者の皆様が活動方針をご理解の上、ご家庭でサポートをしてくださっていることが、数値を維持している要因と捉えております。

3 すずんで授業に取り組むことができましたか。

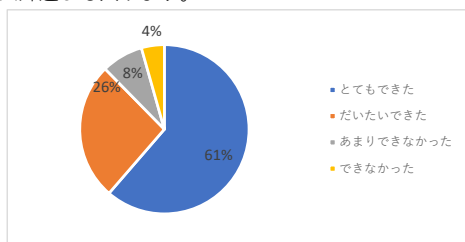
	%
とてもできた	52%
だいたいできた	39%
あまりできなかった	6%
できなかった	2%



進んで授業に取り組んでいると感じている児童が92%と高い値を示しております。前期から引き続き、協働による課題解決型学習を行い、伝え合うことで学びを深めるようにしています。児童自身も「わからないことをそのままにせず、周りの人に聞くことができる」ことを実感しており、「内発的動機が向上している」と捉えております。否定的な回答をした児童もおりますので、今後も個に応じた支援により学ぶ楽しさを実感できるように授業改善に努めてまいります。

4 すずんで運動ができましたか。※外遊びも入ります。

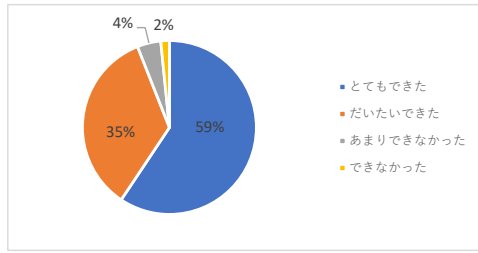
	%
とてもできた	61%
だいたいできた	26%
あまりできなかった	8%
できなかった	4%



約87%の児童が肯定的な回答をしております。今年度、運動の得意不得意に囚われることなく、自分で目標を設定し、「できた」「がんばった」と達成感を味わえる場面の設定を学校全体で行ってまいりました。その中で、身体を動かすことが楽しいと感じる児童が増えてきたと感じております。今後も、健康な体づくりの推進に努めてまいります。

5 思いやりの気持ちをもって友だちとなかよくすることができましたか。

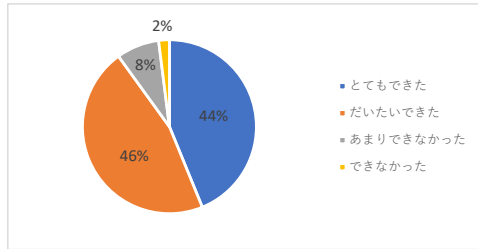
	%
とてもできた	59%
だいたいできた	35%
あまりできなかった	4%
できなかった	2%



肯定的な回答が児童の90%を超え、高い数値を示しております。たてわり活動の様子からも、上級生が下級生に接する態度が良いお手本になっております。思いやりの気持ちが足りない言動を見かけた時に、児童同士で話をしたり、教職員に相談したりして、すぐに解決しようとする態度も育ってきています。今後も、学校生活での様子を一人ひとりしっかりと見守り、豊かな心を育てるよう努めてまいります。

6 三つ星あいさつができましたか。

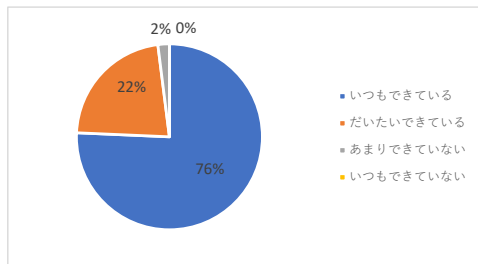
	%
とてもできた	44%
だいたいできた	46%
あまりできなかった	8%
できなかった	2%



9割の児童が肯定的な回答をしております。否定的な回答をしている児童の中には、「もっと良いあいさつをしたい」と考えている児童もいるようです。生活委員会や運営委員会を中心に「三つ星あいさつ」推進する活動を実施してまいりました。次年度も引き継いでいけるよう支援してまいります。また、登下校時でのあいさつや、来校者へのあいさつも自信を持ってできるよう指導を継続してまいります。

7 くつのかかとをそろえていますか。

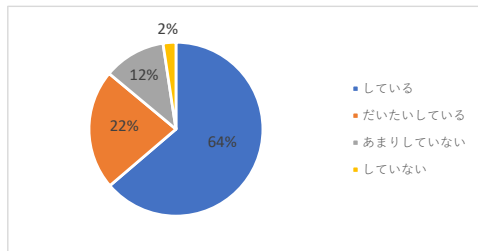
	%
いつもできている	76%
だいたいできている	22%
あまりできていない	2%
いつもできていない	0%



肯定的な回答が98%と大変高い数値を示しております。児童による積極的な推進活動により、「かかとそろえ」は「当たり前のこと」と習慣化しています。このことについて、児童も自覚と自信を持っており、本校の自慢でもあります。また、傘の置き方も丁寧になってきました。次年度も、この習慣が、全校で継続できるように、児童を支援してまいります。

8 家で勉強をしていますか。

	%
している	64%
だいたいしている	22%
あまりしていない	12%
していない	2%



肯定的な回答は86%です。本校では、授業を通して、児童が学ぶことの楽しさを実感できるよう指導を継続してまいりました。より多くの児童が、授業で得た達成感から「家でもう少し考えてみたい」という意欲につながるように、今後も、発達段階に応じて、学習を補ったり、発展的な学習に取り組んだりできるよう指導・支援を行ってまいります。

9 自分で、もっと勉強してみたいと思う教科や学習はどれですか。

前期と同様に全体の25%の児童が体育科、23%が算数科をもっと勉強してみたいと回答しました。その後に図画工作科、社会科が続きました。本校は、今年度10月に白井市学力向上公開研究会を行い、算数科の授業における、主体的な対話的で深い学びの実践発表を行いました。協働的な学びは算数科だけでなく、国語科などの他の教科にも広がりを見せています。今後も児童の学習意欲につながるよう引き続き指導してまいります。